



■ テーマ名

6～10世紀における東アジア交流史
お姫様の活躍

■ キーワード

唐、吐蕃、公主、交流、外交、人文学

■ 研究の概要

6～10世紀における文化交流について研究しています。

公主の役割を唐と古代チベット帝国（吐蕃）という、東アジアを代表する強国を中心に、考察しています。

<研究成果の産業への展開例等>

異文化理解。

中国を中心とした東アジアにおける交流交渉の基礎知識。



(吐蕃に嫁いだネパールのチツン妃と唐の文成公主)

■ 他の研究／技術との相違点

外交のプロセスを女性という立場、親族構造というシステムから考察している。

国家戦略がすべて男性を中心としていると考えず、異なる立場から切り口を入れている。

■ 関連業績（特許・文献）

李貞徳著、大原良通訳『中国儒教社会に挑んだ女性たち』大修館書店。

大原良通著『家族のかたち ― その歴史と機能 ―』神戸学院大学出版会。

■ 研究者から一言

国家間交渉や、社会を男性の面から見るのではなく、別に切り口を入れることにより、より現実的な歴史像を構築しています。